

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 4 月 19 日 (2007.4.19)

【公表番号】特表 2006-527193 (P2006-527193A)
 【公表日】平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-047
 【出願番号】特願 2006-515022 (P2006-515022)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 31/573 (2006.01)
 A 6 1 K 45/00 (2006.01)
 A 6 1 K 39/395 (2006.01)
 A 6 1 K 38/00 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 A 6 1 P 21/04 (2006.01)
 A 6 1 P 25/02 (2006.01)
 A 6 1 P 11/00 (2006.01)
 A 6 1 P 37/08 (2006.01)
 A 6 1 P 19/02 (2006.01)
 A 6 1 P 17/00 (2006.01)
 A 6 1 P 17/06 (2006.01)
 A 6 1 P 37/02 (2006.01)
 C 0 7 K 16/18 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/573
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 K 39/395 H
 A 6 1 K 37/02
 A 6 1 P 43/00 1 1 1
 A 6 1 P 21/04
 A 6 1 P 25/02 1 0 1
 A 6 1 P 11/00
 A 6 1 P 37/08
 A 6 1 P 19/02
 A 6 1 P 17/00
 A 6 1 P 17/06
 A 6 1 P 37/02
 C 0 7 K 16/18

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 3 月 2 日 (2007.3.2)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

哺乳動物における筋機能障害の処置のための医薬の調製のための少なくとも 1 種の G D F
 - 8 インヒビターの使用であって、該処置が少なくとも 1 種のコルチコステロイドの投与

を含む、使用。

【請求項 2】

哺乳動物における筋機能障害の処置のための医薬の調製のための少なくとも 1 種のコルチコステロイドの使用であって、該処置が少なくとも 1 種の G D F - 8 インヒビターの投与を含む、使用。

【請求項 3】

組み合わせ治療による哺乳動物における筋機能障害の処置のための医薬の製造における G D F - 8 インヒビターの使用であって、該組み合わせ治療が有効量の G D F - 8 インヒビターおよびコルチコステロイドを同時にまたは逐次的に該哺乳動物に投与することを含む、使用。

【請求項 4】

哺乳動物における筋機能障害の処置のための医薬の製造における、少なくとも 1 種の G D F - 8 インヒビターおよび少なくとも 1 種のコルチコステロイドの使用。

【請求項 5】

前記処置が前記哺乳動物の筋機能を増大させる、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 6】

前記処置が前記哺乳動物の筋肉量を増加させる、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 7】

前記障害が筋肉衰弱である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 8】

前記障害が筋萎縮症である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 9】

前記障害が腓腹筋、前脛骨筋、四頭筋、指伸筋、心筋、または横隔膜筋のうちの少なくとも 1 種から選択される筋肉に影響を与える、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 10】

前記障害が心筋症である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 11】

哺乳動物におけるコルチコステロイド誘導性筋萎縮症を処置するための医薬の製造における、少なくとも 1 種の G D F - 8 インヒビターの使用。

【請求項 12】

前記障害が神経筋障害である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 13】

前記障害が筋ジストロフィである、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 14】

請求項 13 に記載の使用であって、前記筋ジストロフィは、デュシェーヌ筋ジストロフィである、使用。

【請求項 15】

請求項 13 に記載の使用であって、前記筋ジストロフィは、ベッカー筋ジストロフィである、使用。

【請求項 16】

請求項 1 ~ 15 のうちのいずれか 1 項に記載の使用であって、前記哺乳動物は、ヒトである、使用。

【請求項 17】

請求項 1 ~ 16 のうちのいずれか 1 項に記載の使用であって、前記コルチコステロイドを、ベクロメタゾンジプロピオネート、ブデソニド、コルチゾル、デキサメタゾン、フルチカゾンジプロピオネート、モメタゾンフロエート、プレドニゾン、トリアムシノロンアセトニド、あるいはそれらの誘導体または薬学的に受容可能な塩のうちの少なくとも 1 種から選択する、使用。

【請求項 18】

請求項 1 ~ 16 のうちのいずれか 1 項に記載の使用であって、前記コルチコステロイドは、プレドニゾンまたはプレドニゾロンである、使用。

【請求項 19】

請求項 1 ~ 18 のうちのいずれか 1 項に記載の使用であって、前記コルチコステロイドを、 0.1 mg / kg / 日 と 2.0 mg / kg / 日 との間の用量で投与する、使用。

【請求項 20】

請求項 1 ~ 19 のうちのいずれか 1 項に記載の使用であって、前記コルチコステロイドを、経口投与する、使用。

【請求項 21】

請求項 1 ~ 20 のうちのいずれか 1 項に記載の使用であって、前記 G D F - 8 インヒビターを、G D F - 8 に対する抗体、G D F - 8 レセプターに対する抗体、可溶性 G D F - 8 レセプター、G D F - 8 プロペプチド、G D F - 8 の低分子インヒビター、フォリスタチン、またはフォリスタチンドメイン含有タンパク質から選択する、使用。

【請求項 22】

請求項 21 に記載の使用であって、前記 G D F - 8 に対する抗体を、J A - 16、M y o 29、M y o 28、または M y o 22 から選択する、使用。

【請求項 23】

請求項 21 に記載の使用であって、前記 G D F - 8 プロペプチドは、アスパラギン酸残基において変異している、使用。

【請求項 24】

請求項 21 に記載の使用であって、前記 G D F - 8 プロペプチドは、免疫グロブリンの F c 部分に結合している、使用。

【請求項 25】

請求項 21 に記載の使用であって、前記 G D F - 8 レセプターは、A c t R I I B である、使用。

【請求項 26】

請求項 21 に記載の使用であって、前記 G D F - 8 レセプターは、免疫グロブリンの F c 部分に結合している、使用。

【請求項 27】

請求項 21 に記載の使用であって、前記 G D F - 8 インヒビターは、フォリスタチンである、使用。

【請求項 28】

請求項 21 に記載の使用であって、前記フォリスタチンドメイン含有タンパク質は、G A S P - 1 である、使用。

【請求項 29】

請求項 21 に記載の使用であって、前記 G D F - 8 インヒビターは、低分子インヒビターである、使用。

【請求項 30】

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の使用であって、前記処置が前記 G D F - 8 インヒビターと前記コルチコステロイドとの同時投与を含む、使用。

【請求項 31】

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の使用であって、前記処置が前記 G D F - 8 インヒビターと前記コルチコステロイドとの逐次的投与を含む、使用。

【請求項 32】

請求項 13 に記載の使用であって、前記処置が前記 G D F - 8 インヒビターと前記コルチコステロイドとの同時投与を含む、使用。

【請求項 33】

請求項 13 に記載の使用であって、前記処置が前記 G D F - 8 インヒビターと前記コルチコステロイドとの逐次的投与を含む、使用。

【請求項 3 4】

筋機能の低下、筋肉衰弱、心筋症または神経筋障害の処置において逐次的に、別々に、または同時に使用するための組み合わせ調製物としての、少なくとも 1 種の G D F - 8 インヒビターおよび少なくとも 1 種のコルチコステロイドを含む生成物。

【請求項 3 5】

少なくとも 1 種の G D F - 8 インヒビターおよび少なくとも 1 種のコルチコステロイドの薬学的に有効な量の組み合わせを含む、組成物。

【請求項 3 6】

コルチコステロイドとともに使用するための医薬の製造における、少なくとも 1 種の G D F - 8 インヒビターの使用。

【請求項 3 7】

哺乳動物における筋機能障害の処置のための、少なくとも 1 種の G D F - 8 インヒビターを含む組成物であって、該組成物は、少なくとも 1 種のコルチコステロイドとの投与に適している、組成物。

【請求項 3 8】

哺乳動物における筋機能障害の処置のための、少なくとも 1 種のコルチコステロイドを含む組成物であって、該組成物は、少なくとも 1 種の G D F - 8 インヒビターとの投与に適している、組成物。

【請求項 3 9】

哺乳動物における筋機能障害の処置のための、G D F - 8 インヒビターを含む組成物であって、該組成物は、有効量コルチコステロイドとの同時投与または逐次的投与に適している、組成物。

【請求項 4 0】

哺乳動物における筋機能障害の処置のための組成物であって、少なくとも 1 種の G D F - 8 インヒビターおよび少なくとも 1 種のコルチコステロイドを含む、組成物。

【請求項 4 1】

前記処置が前記哺乳動物の筋機能を増大させる、請求項 3 7 ~ 4 0 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 4 2】

前記処置が前記哺乳動物の筋肉量を増加させる、請求項 3 7 ~ 4 0 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 4 3】

前記障害が筋肉衰弱である、請求項 3 7 ~ 4 0 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 4 4】

前記障害が筋萎縮症である、請求項 3 7 ~ 4 0 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 4 5】

前記障害が腓腹筋、前脛骨筋、四頭筋、指伸筋、心筋、または横隔膜筋のうちの少なくとも 1 種から選択される筋肉に影響を与える、請求項 3 7 ~ 4 4 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 4 6】

前記障害が心筋症である、請求項 3 7 ~ 4 4 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 4 7】

哺乳動物におけるコルチコステロイド誘導性筋萎縮症を処置するための組成物であって、少なくとも 1 種の G D F - 8 インヒビターを含む、組成物。

【請求項 4 8】

前記障害が神経筋障害である、請求項 3 7 ~ 4 4 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 4 9】

前記障害が筋ジストロフィである、請求項 3 7 ~ 4 4 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 5 0】

請求項 4 9 に記載の組成物であって、前記筋ジストロフィは、デュシェーヌ筋ジストロフ

イである、組成物。

【請求項 5 1】

請求項 4 9 に記載の組成物であって、前記筋ジストロフィは、ベッカー筋ジストロフィである、組成物。

【請求項 5 2】

請求項 3 7 ~ 5 1 のうちのいずれか 1 項に記載の組成物であって、前記哺乳動物は、ヒトである、組成物。

【請求項 5 3】

請求項 3 7 ~ 5 2 のうちのいずれか 1 項に記載の組成物であって、前記コルチコステロイドを、ベクロメタゾンジプロピオネート、ブデソニド、コルチゾル、デキサメタゾン、フルチカゾンプロピオネート、モメタゾンフロエート、プレドニゾン、トリアムシノロンアセトニド、あるいはそれらの誘導体または薬学的に受容可能な塩のうちの少なくとも 1 種から選択する、組成物。

【請求項 5 4】

請求項 3 7 ~ 5 2 のうちのいずれか 1 項に記載の組成物であって、前記コルチコステロイドは、プレドニゾンまたはプレドニゾロンである、組成物。

【請求項 5 5】

請求項 3 7 ~ 5 4 のうちのいずれか 1 項に記載の組成物であって、前記コルチコステロイドが 0 . 1 m g / k g / 日と 2 . 0 m g / k g / 日との間の用量での投与に適している、組成物。

【請求項 5 6】

請求項 3 7 ~ 5 5 のうちのいずれか 1 項に記載の組成物であって、前記コルチコステロイドが経口投与に適している、組成物。

【請求項 5 7】

請求項 3 7 ~ 5 6 のうちのいずれか 1 項に記載の組成物であって、前記 G D F - 8 インヒビターを、G D F - 8 に対する抗体、G D F - 8 レセプターに対する抗体、可溶性 G D F - 8 レセプター、G D F - 8 プロペプチド、G D F - 8 の低分子インヒビター、フォリスタチン、またはフォリスタチンドメイン含有タンパク質から選択する、組成物。

【請求項 5 8】

請求項 5 7 に記載の組成物であって、前記 G D F - 8 に対する抗体を、J A - 1 6、M y o 2 9、M y o 2 8、または M y o 2 2 から選択する、組成物。

【請求項 5 9】

請求項 5 7 に記載の組成物であって、前記 G D F - 8 プロペプチドは、アスパラギン酸残基において変異している、組成物。

【請求項 6 0】

請求項 5 7 に記載の組成物であって、前記 G D F - 8 プロペプチドは、免疫グロブリンの F c 部分に結合している、組成物。

【請求項 6 1】

請求項 5 7 に記載の組成物であって、前記 G D F - 8 レセプターは、A c t R I I B である、組成物。

【請求項 6 2】

請求項 5 7 に記載の組成物であって、前記 G D F - 8 レセプターは、免疫グロブリンの F c 部分に結合している、組成物。

【請求項 6 3】

請求項 5 7 に記載の組成物であって、前記 G D F - 8 インヒビターは、フォリスタチンである、組成物。

【請求項 6 4】

請求項 5 7 に記載の組成物であって、前記フォリスタチンドメイン含有タンパク質は、G A S P - 1 である、組成物。

【請求項 6 5】

請求項 57 に記載の組成物であって、前記 G D F - 8 インヒビターは、低分子インヒビターである、組成物。

【請求項 66】

請求項 37 ~ 40 のいずれか 1 項に記載の組成物であって、前記処置が前記 G D F - 8 インヒビターと前記コルチコステロイドとの同時投与を含む、組成物。

【請求項 67】

請求項 37 ~ 40 のいずれか 1 項に記載の組成物であって、前記処置が前記 G D F - 8 インヒビターと前記コルチコステロイドとの逐次的投与を含む、組成物。

【請求項 68】

請求項 49 に記載の組成物であって、前記処置が前記 G D F - 8 インヒビターと前記コルチコステロイドとの同時投与を含む、組成物。

【請求項 69】

請求項 49 に記載の組成物であって、前記処置が前記 G D F - 8 インヒビターと前記コルチコステロイドとの逐次的投与を含む、組成物。

【請求項 70】

コルチコステロイドとの投与に適している少なくとも 1 種の G D F - 8 インヒビターを含む組成物。